



仁別の森林で遊ぼう！ 夏休みの親子森林教室

令和4年8月6日（土）秋田市仁別森林博物館とその周辺の森林で、「山の日」を記念して、「仁別の森林（もり）で遊ぼう！親子森林教室」を行いました。当日は、天候にも恵まれ、3組6人の親子に「仁別森林博物館見学」、「森林散策」、「木工・缶バッジ製作」を体験してもらいました。

博物館見学

ボランティアの案内人会の堀井先生が、博物館の中を案内してくれました。仁別の森林に住む動物や植物の説明を聞いて、森林のクイズラリーに挑戦です。

カモシカヤツキノワグマの剥製をじっくり観察したり、男鹿の海で使用されていた天然秋田スギの丸太から作られた丸木舟に触ったり、実際に森林鉄道で走っていたディーゼル機関車に乗ってみたい、見て触れて確かめて、分からないことは積極的に質問してくれました。



森林散策

森林散策では、丸山先生にバトンタッチ。長靴に履き替え、仁別の森のシンボル「めおと杉」に向かって出発!!と思ったら、庄司課長の肩にセミが止まって動きません!恐る恐る近づく子どもたち。それでも動かないセミをじっくり観察しました。



丸山先生から、木の根の深さ当てクイズを出され、イラストを見ながら出発です。大きな木が倒れているところで答合わせ。木の大きさが、大きくても小さくても、根の張り方は変わらないことを確認しました。



次は、ラクウショウの漆根を見学。木の周りに、ポコポコと根が出ているのを見て、「これは何?どうして?」と興味をもって質問してくれました。

歩きながら虫眼鏡を使って、熱心に葉っぱを確認する子供たち。めおと橋を渡り、めおと杉に到着!幹周り14mを超える大きな杉の木にビックリしていました。



ぐらぐら揺れる吊り橋では歓声が上がリ、仁別の森林の静かな番人（山ヒル）の熱烈的な歓迎を受けましたが、吸血被害は無し!!途中、「疲れた!」との声も聞こえてきましたが、約1時間の森林散策を楽しんでくれました。



木工・缶バッジ製作体験

お昼ご飯を食べた後は、秋田スギの間伐材を使って、壁掛け時計を作りました。お父さん・お母さんの力も借りて、慣れない手つきでノコギリを使い一生懸命切りました。次は切ったところを紙やすりでなめらかにしていきます。数字盤には、数字のほかに松ぼっくりやドングリ、ビーズなどを選んで、自分だけのオリジナル壁掛け時計を完成させました。



缶バッジ製作は、植物・昆虫・動物の台紙の中から自分で好きなものを選び製作しました。子供たちには、クマやオコジョなどの動物が人気でした。



最後に、クイズラリーの答え合わせをしました。「答え分かる子?」と聞くと、元気に手を上げて答えてくれ、全員全問正解!!今日一日勉強した成果が出ました。

子どもたちからは、「すごく楽しかった!また仁別に遊びに来たい。」とお話してくれました。

最後に

ここ数年のコロナ禍により、各種イベントが中止になっていましたが、子どもたちの夏休みの思い出として、参加者は少ないながらも、親子で参加できる森林教室を開催することが出来ました。



普段の生活の中では経験出来ないことを、自然を通して満喫出来たのではないのでしょうか。これからも、子どもたちが気軽に自然体験出来るよう、イベントの充実を図りたいと思います。



また、遊びに来てね!



東北森林管理局技術普及課
秋田森林管理署